

人や自然にやさしいエコガーデンをめざして

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

エコライフみしま



第24号
2014/10/15

知っていますか？

市の鳥「カワセミ」市の木「イチヨウ」市の花「三島桜」



- 特集「5R」・・・P2、P3
- 環境活動紹介(三島市ストップ温暖化推進協議会の活動)・・・P4

5つのRでゴミ減量



小学生環境探偵団の活動で
ごみの分別に挑戦する団員

ちゃんと覚えて、
お家でお手伝いしよう！

紙の分別って、
いろいろルールがあって
けっこう難しいなあ...



分別のポイントをしっかりと学びました

クイズ：紙製の卵の容器(右の写真)は、どんな資源ごみを原料にして
作られているでしょうか？

答えはP2へ...



10月は3R推進月間ということをご存知ですか？3Rとはリデュース（減らす）・リユース（再利用する）・リサイクル（再生資源にする）によるごみ減量の取り組みのことで、エコライフみしま第24号では、3Rよりも一歩踏み込んだ取り組みとして、『5R』について特集しました。3Rは知っているけど、5Rって何だろう？そんな方もいらっしゃるのではないのでしょうか。5Rは、3Rにさらにリフューズ（断る）、リペア（修理する）の2つを加えたものです。5つのRを意識して、ごみの減量に取り組みましょう。



①リフューズ（Refuse：断る）

5Rに取り組む際にまず行って欲しいのは、リフューズです。リフューズは、必要のないものを買わない・過剰な包装を断るといった、ごみになる不要なものを家庭に持ち込まないという取り組みです。何かを買うときは本当に必要かどうか考えてから買うようにしましょう。

～マイバッグの今～



三島市では、レジ袋を削減し、地球温暖化の防止と資源循環型社会を実現するため、平成20年10月から市内の食品スーパー（現在は6社15店舗）にご協力いただき、レジ袋の無料配布を中止しました。無料配布中止を始めた時には75.5%であったレジ袋辞退率ですが、1年後には86.4%に上昇し、現在でも8割以上の方が辞退しています。

これからも環境に負荷をかけないようライフスタイルを見直し、買い物の際にはレジ袋の有料無料にかかわらず、マイバッグやマイバスケットを持参しましょう。

②リデュース（Reduce：減らす）

次に行って欲しいのはリデュースです。リデュースとはごみになってしまうものを減らす取り組みです。みなさんができることとしては、詰め替え商品を購入し容器を捨てないようにすることや、外食をする際に割りばしではなくMyはしや洗って使えるはしを使うなどがあります。また、生ごみの量を減らすために、料理を作りすぎないように気をつけたり、食材を使い切るように工夫することも大切です。日頃から冷蔵庫の中をチェックして食材を買い過ぎないように気をつけ、もし捨ててしまうことになったときは、何円無駄にしてみましたかを考えてみましょう。



③リユース（Reuse：再利用する）

リユースは、同じものを何度も使ったり、不用品をバザーやフリーマーケットに出して必要としている人に譲るといった取り組みです。三島市ではフリーマーケットのほか、譲りたいものを登録し、欲しい人に渡す不用品活用バンクという取り組みも行っています。

～フリーマーケットに行こう！～

三島市では月に一回程度フリーマーケットを開催しています。出店者として、あるいはお客として、参加してみませんか？

開催日：平成26年11月16日（日）、12月14日（日）
平成27年2月15日（日）、3月15日（日）
時間：午前8時30分～正午
会場：浄化センター広場（長伏公園近く）

和服から洋服へ ～生まれ変わった着物たち～

由佳教室の皆さんは、使わなくなった着物などを利用して衣類や小物を製作しています。裏地や蚊帳なども利用して個性豊かな作品に仕上げていました。生徒の皆さんは作品のデザインから縫製まで、先生にアドバイスを貰いながら、静かな教室で集中して作品づくりに取り組んでいました。なお、出来上がった作品は静岡県リフォームファッションショーなどに自らがモデルとなって出品し、多数の入賞を果たしているとのこと。

素材の持ち味を活かして作り直し、また再利用する。無駄がほとんどない由佳教室の皆さんの作品からはリサイクルの原点を教えられた思いでした。



教室の様子

クイズの答え：ミックス古紙

集めるのに苦労するミックス古紙。実は身近なものに生まれ変わっていたんですね。

④リペア (Repair : 修理する)

壊れたものはすぐに捨てていませんか？ちょっと修理をするだけで、またもとのように使えるものもたくさんあります。ものを大切に長く使用することが、ごみを減らすことに繋がります。

～おもちゃの怪我は病院～

沼津おもちゃ病院は「物を大切にする心、工夫する喜びを伝えたい」という趣旨で、昭和52年に開設されました。37年間にわたり、杉山枉行院長を中心にボランティアのおもちゃドクターの皆さんが、沼津市で行われる毎月1回の診療日と、周辺施設・イベントへの出張でおもちゃの修理を行っています。

壊れたおもちゃを会場に持っていくと…



①まずは受付で「問診」
故障状態のチェックをします。



②その場で「治療」ができるおもちゃもあれば、「入院（預かり）」になるものもあります。



③おもちゃドクターの皆さんに「ありがとうございます」

修理代は無料ですが、部品の交換等を行った場合は部品代のみ費用がかかります。なお、ドクターの皆さんによると、最近は電子機器のおもちゃの修理依頼が多く、スキルアップ研修に参加して修理の腕を磨き、依頼に対応しているとのこと。

治ったおもちゃで遊ぶ嬉しそうな子供たちが、「ありがとうございます」と挨拶する姿に、保護者の方だけでなくドクターの皆さんからも笑みがこぼれる素敵なおふれあいの場、未来につなげて行ってほしいと思います。壊れてしまったおもちゃを蘇らせたい方は、おもちゃ病院に出かけてみては如何でしょうか

連絡先：沼津市社会福祉協議会
TEL 055-922-1500

⑤リサイクル (Recycle : 再生資源にする)

いくら減らす努力をしても、家庭から出るごみをゼロにすることは難しいと思います。そこで最後に、資源になるものを分別してリサイクルに出しましょう。資源ごみとして回収されたものは形を変えて新しく生まれ変わります。

～資源ごみは何になる？～

一度使った身近なものがどんなものに生まれ変わっているか見てみましょう。

アルミ缶、スチール缶 ⇒アルミ缶、スチール缶、車の部品、家電製品など	ペットボトル (本体) ⇒衣類、プラスチック製品、固形燃料など
白色トレイ、白色発泡スチロール ⇒白色トレイ、プラスチック製品など	ペットボトル (ふた) ⇒発泡スチロール、プラスチック製品など
新聞紙 ⇒新聞紙、トイレットペーパーなど	紙製パック ⇒ノートなど
雑誌 ⇒雑誌、印刷用紙など	段ボール ⇒段ボールなど
びん⇒びん、断熱材、道路やタイルの材料など	衣類 ⇒古着として利用、ぬいぐるみの詰め物、ウエスなど
携帯電話 ⇒銅線、半導体、プラスチック、ガラス製品など	ミックス古紙 ⇒紙製の卵の容器、石膏ボード材など

ごみ減量化の啓蒙活動～南婦人会の取り組み～

南婦人会（渡辺道子会長）では、40年前からアルミ缶、新聞紙、段ボール、びん類等資源ごみの集団回収を行っています。また、同会では、ごみの減量や資源再利用、環境美化につなげようと、ごみの分別収集について紙芝居をつくり、寸劇をまじえて町内（自治）会や老人会で披露しています。また、三島市のごみ排出量の実態や焼却灰埋立地の容量減少等を説明した折、話だけでは分からないから資料が欲しいと言われたことをきっかけに、同会では漫画風の資料をつくり配布しています。

資源ごみの集団回収で得た収益金は婦人会の活動に使っています。一人でも多くの人にごみの減量化に取り組んでもらえればと、啓蒙活動を続けています。



紙芝居の上演

三島市ストップ温暖化推進協議会の活動紹介

三島市ストップ温暖化推進協議会は、2009年6月に「地球温暖化防止に向けた積極的な普及啓発活動の実践を図ること」を目的に設立された環境ボランティア団体です。

表紙の写真は、8月22日にエコセンター（旧三島測候所）で行われた小学生環境探偵団の活動の様子です。協議会のメンバーと清掃センターの職員が講師となっており、実際にごみの分別を体験してもらいました。当日は自転車発電や炭電池作り、緑のカーテンを使ったネイチャーゲームなど、地球温暖化防止に関する様々な体験学習を行いました。

本協議会では、地球温暖化防止に向けてその他にも様々な普及啓発活動を行っています。



地球温暖化防止啓発イベントの開催
(ライトダウン! キャンドルナイト
みしま開催風景)



自治会や企業、団体等への講師派遣
(企業への環境出前講座の様子)



地球温暖化防止講演会の開催
(環境講演会「富士山と三島」開催風景)



環境学習グッズや環境啓発グッズの作製
(ソーラークッカー作製教室の様子)



推進員スキルアップ研修
(長泉町最終処分場見学の様子)



エコセンター（旧三島測候所）を
活動拠点に、「ストップ地球温暖化」
に取り組んでいます。

これらの活動を実施するため、イベント部会・活動広報部会・環境教育部会の3つの部会を設置して、各部の連携を図りながら企画を行っています。

協議会では、地域の環境問題を考えながら地球温暖化を防止し、住みよい地球を未来へ残すための活動に関心のある方の参加を求めています。詳しくは下記環境政策課までお問い合わせください。

【編集後記】



今回の5R特集いかがでしたでしょうか。よく考えると、昔からの生活そのものが5Rだったと思います。普段の生活をもう一度見直してみましょう。三島には古来立派な人達が参りますが、その中に龍澤寺の山本玄峰老師と白蓮とが竹倉温泉で出会ったという話が有ります。もしかしたら、三島の風情についても語り合ったのかもしれないね。(と)

編集スタッフ（市民ボランティア）

飯田喜一・大村洋子・岩田明彦・柴原俊介・鈴木祥子・堀江紗代
川村結里子・青木博・羽田妙子

第24号（5月・10月の年2回発行）

平成26年10月15日発行

〒411-8666 静岡県三島市中央町 5-5

三島市役所中央町別館

環境政策課内

「エコライフみしま」編集事務局

TEL:055-983-2647 FAX:055-976-8728

E-mail:kankyoku@city.mishima.shizuoka.jp

エコライフみしまは再生紙を使用して発行しています。
エコライフみしまも再生可能な資源古紙です。